

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新生第一翠光園	階数	地上3F
建設地	京都府福知山市字長田小字松山下	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、法22条	平均居住人員	63 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年1月 予定	評価の実施日	2013年1月23日
敷地面積	4,514 m <sup>2</sup>	作成者	ゆう建築設計 岩崎
建築面積	2,400 m <sup>2</sup>	確認日	2013年1月23日
延床面積	4,674 m <sup>2</sup>	確認者	ゆう建築設計 岩崎



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 3.5

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	住宅街に立地するため、周辺の住宅に圧迫感を与えないように上階にいくほどセットバックする建物ボリュームとした。	
<b>その他</b>	敷地の高低差を活かした断面計画とし、隣接地地盤への負担がかからないように配慮した。	
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
各室とも出来るだけ自然換気・自然光を取り入れられるように平面計画を行った。	地域家庭子ども支援センターを3階に集約し、動線を出るだけまとめた。入所部門については、年齢・性別ごとにまとまって暮らせるような、各部門を独立させた計画とした。	敷地内に入居者用の庭を各所に設けた。また地域の方、来館者の方にとって見通しがよいオープンな車寄せを設けた。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
自然採光・自然換気・通風が可能な平面計画を行った。高効率な設備機器を採用する。	節水型衛生機器の採用。屋外散水に井水を利用する。	ごみ保管庫を設ける。駐車スペースをできるだけ確保する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される